

図書館ニュース

想いを読む

No.96

令和元(2019)年6月25日 ● 名古屋女子大学中学校・高等学校図書館 ●

<https://lib.meijodai.ed.jp>

読書で人の想いに触れる

土屋利奈 教諭(英語科)

読書を通して得られる一番のメリットは、自分とは違う状況におかれた人の気持ちを理解できるようになるということだと思います。私は高校2年生の時、洋書を読み、アメリカで人種差別の歴史があったことにとっても驚き、物語に登場する理不尽な制裁を受けた人たちの悲しい気持ちを知りました。また、1920年代の^{きら}煌びやかなアメリカの時代が描かれた「The Great Gatsby」を原文で読み、時代の変化により、人々の心の持ち様も大きく変わるのどと感じました。アメリカは黄金の1920年代から一気に世界恐慌に突入しましたが、日本のバブル崩壊の時と同様、幻想のような豊かさから生まれる人々の強欲資本主義が、一気に^け餓渇に陥る様はいつの時代になっても繰り返されるのではないかと思います。

今、本校の図書館には震災関連のコーナーが設けられています。その中の「東日本大震災伝えなければならない100の物語」で、消防隊員、自衛隊員が、国の命運がかかったミッションを果たす姿が描かれていました。2011年3月11日の地震の後、水素爆発を起こした福島第一原発に連続放水を命じられ、冷却システムを完成させた消防隊の様子が描かれていました。彼らは高い放射線量が報告された場所に放射能が排出される薬を飲み、これ以上放射線を浴びると、がんを発症してしまうぎりぎりの時間と距離で放水を続け、任務を遂行していました。もし成功していなかったら、原発の影響は日本中に広がり、大変な惨事になっていたことを思えば、彼らの勇敢な行動に心から敬意を払いたいです。そこには自身の安全よりも全国民を救助することを優先した彼らの想いが書かれていました。私自身、比較的被害が少ない名古屋に住み、平和ぼけしていたので、「被曝した人がいた」ということは知っていましたが、こんなすさまじい状況があったことは初めて知りました。南海トラフ地震が近いといわれている今、東海地方では浜岡原発があることを思えば、私たちこそ被災者の経験談を教訓にすべきだと思います。

読書を通し、自分が経験したことの無い状況を知り、その立場に立たされた側の想いや困難を知ることにより自分の見識が大きく広がります。例えば歴史上の教科書には事実が述べられていますが、当時どのような時代背景で、先人達がどんな想いにたち、決断を下したかについては述べられていません。皆さんもさまざまな状況、国、文化、歴史上の偉人に関する本を読んでみてください。読書を通して、他人の想いを共有することで、多面的な視点で物事を考えられるようになると思います。相手の立場になって物事を考えることができるようになれば様々な価値観を持った人々が集まる学校、職場においてもお互いに心通わせることができるはずです。

想いを読む

本には、著者の伝えたい“想い”がたくさん詰まっています。その“想い”を読み取り、また自分の中に生まれた“想い”を人へつなげていくことが出来たら、とても素敵なことだと思いませんか？

読書会から

図書委員会のイベント係は、「ミニ読書会」を月に1回「名女読書会」を年に1回企画し、著者から汲み取った“想い”や本を読んで、自分の中に生まれた“想い”を伝え合い、共有する時間を作っています。平成30年度後期に行われた「ミニ読書会」や「第4回名女読書会」で紹介された本の中から、“想い”の伝わる本を紹介します。

14歳の君へ どう考えどう生きるか

池田晶子 著 (毎日新聞社)
この本は、哲学的な内容で、例えば「自然」と聞くと海や山や動植物のことを思い浮かべがちだが、わたしたち人間も立派に自然の一部なのだ。」といった普段、自分では気が付かないような考え方がたくさん載っていて面白く感じた。

2019年1月24日ミニ読書会参加者より

真夜中のディズニーで考えた働く幸せ

鎌田 洋 著 (河出書房新社)
著者は、ずっと憧れていたディズニーに就職できたが、働くことになったのは掃除担当だった。最初はがっかりしたが、次第にその仕事にやりがいを感じるようになる。ディズニーで働いた経験と、それについての名言が書かれているので、名言がずっと心に残った。

2019年2月26日ミニ読書会参加者より



一般開架
100
I

西の魔女が死んだ

梨木 香歩 著 (新潮社)
タイトルだけ聞くと暗そうなお話。学校へ足が向かなくなった少女が、おばあちゃん(西の魔女)の家に預けられ、魔女修行をする中で成長していく物語。印象に残った一節は、「自分にとって1番欲しいもの、価値あるものは、1番難しい試練を乗り越えないと得られないものかも知れませんよ。」というおばあちゃんのお言葉。短くて読みやすいので忙しい人にもおすすめ。

2019年3月13日第4回名女読書会参加者より



文庫
9
N



第4回名女読書会の様子 (2019年3月13日)

読書会をはじめ、図書館のイベントは、普段自分では選ばない本に触れられる良い機会です。生徒参加型のイベントをこれからも企画していきますので、楽しみにしてください！

イベント係よりお知らせ

2019年度前期
ミニ読書会開催

月に1回程度、図書館のブラウジングコーナーでミニ読書会を開催しています！好きな本を紹介したい、オススメの本を紹介されたいなど…。気軽に参加できる読書会なので、ぜひ参加してみてくださいね！
開催予定日(15:10開始) 6/26(水)・7/10(水)・9/18(水)
※変更がある場合は掲示等でお知らせします。

図書委員の おすすめから

図書委員会の展示・館内装飾係は、「図書委員おすすめコーナー」でおすすめの本とおすすめコメントを書いた手作りのPOPを展示しています。この展示は、本の著者からの“想い”を受け取った図書委員が学校のみんなへその“想い”をつなげる場となっています。平成30年度後期の展示・館内装飾係のおすすめを紹介します。ぜひ、読んでみてください！



タイトル(著者)	請求記号
① トワイライト 全10巻(ステファニー・メイヤー)	9/M/1-1~
② 東京すみっごごはん 1~3(成田名璃子)	9/N/1-3
③ 幸福論(アラン)	1/A
④ かわいいフェルトの小物たち(タバサナオミ)	594/T
⑤ 小説 パーフェクトワールド(有沢ゆう希)	9/A
⑥ 神々の午睡(あさのあつこ)	9/A
⑦ うさぎパン(瀧羽麻子)	9/T
⑧ 猫は抱くもの(大山淳子)	9/0

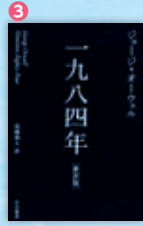


図書委員 選書

図書委員会の選書係は、いつもみなさんに読書を楽しんでもらいたいという“想い”を込めて本を選んでいきます。本の著者からの“想い”だけでなく、そんな選書係の“想い”も受け取ってもらえると嬉しいです。平成30年度後期の選書係が選んだ本を図書委員の推薦コメントと共に紹介します。紹介した本は全て「図書委員選書」のコーナーに並んでいます。ぜひ、読んでみてください！



今、話題のチョ・ナムジュさんの本です。女性たちが思っている事や絶望などが書かれている本で、自分と照らし合わせて読んでみるといいと思います。



死刑制度について考えるミステリー。中高校生にピッタリだと思います。



ひとりぼっちの心にそっと寄り添い本当にたいせつなことは何かを教えてくれる物語。世の中にいる「当たり前じゃない」人たちの思いに気が付くことがとても難しく、とても大切なことだと教えてくれる。教師になりたいと考えている人にオススメ。

タイトル(著者)	請求記号
1 82年生まれ、キム・ジョン(チョ・ナムジュ)	929/C
2 明日は、いずこの空の下(上橋菜穂子)	9/U
3 一九八四年(ジョージ・オーウェル)	9/O
4 13階段(高野和明)	9/T
5 サイレント・プレス 看取りのカルテ(南 杏子)	9/M
6 アンドロイドは電気羊の夢を見るか?(フィリップ・K・ディック)	9/D
7 解錠師(スティーヴ・ハミルトン)	9/H
8 星を継ぐもの(ジェームズ・P・ホーガン)	9/H
9 新世界より 上・中・下(貴志祐介)	9/K/1-2-3
10 虚ろな十字架(東野圭吾)	9/H
11 札幌アンダーソング(小路幸也)	9/S
12 よるのばけもの(住野野る)	913/S
13 ふたご(藤崎彩織)	913/F
14 女王の百年密室(森 博嗣)	9/M
15 青い鳥(重松 清)	9/S
16 すみれの花の砂糖づけ(江國香織)	9/E
17 カエルの楽園(百田尚樹)	913/H
18 さかなのみみだ(さかなクン)	371/S
19 むかし僕が死んだ家(東野圭吾)	9/H

図書委員選書のコーナーができました！

平成30年度卒業生から寄付していただいた本棚を「図書委員選書」の本棚としました。これまでの選書係が選んだ本が並べられています。どれも図書委員が“想い”を込めて選んだ本です！ぜひ、読んでみてください！



名女の素
100のレシピ
コーナー

図書委員選書
コーナー

出入口

新聞
雑誌

新着

読書ノートに“想い”を書きとめよう！

「名女の素100のレシピ」には、巻末に「読書ノート」がついています。このノートに、読書したときの自分の“想い”や、著者から汲み取った“想い”を書きとめよう！後から読み返すと、その本の内容が思い出せるだけでなく、そのときの自分の感情を思い起こすことができます。



記入例

書名/著者名	「ワンダー」 / R.J. パラシオ	
出版社	ほるぶ出版	読書期間 2019.5/1~5/10
感想	ひとは、見た目を気にしがちだけど、大切なのは、こころだってことが伝わってきた。読んでいううちにオギーと友だちのことを応援したくなった！	

読書ノートを図書館カウンターで見せよう！

返却本1冊につき1つスタンプを押している「読書スタンプカード」ですが、「読書ノート」の記録を図書館カウンターで見せることでスタンプがもらえるって知ってましたか？(1冊の記録につきスタンプ1つ)5個スタンプを集めるごとにオリジナルブックカバーを、10個スタンプを集めるごとにオリジナルしおりをプレゼントしています。ぜひ「読書ノート」を見せてくださいね！

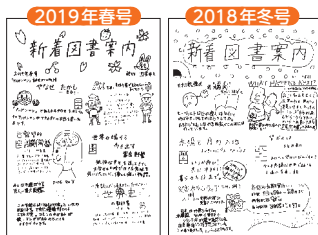


図書委員だより 平成30年後期の図書委員の活動を紹介します。

カウンター係 お昼の12:50~13:05までの間、カウンターで本の貸出返却の仕事をしています。その他、期限票の準備や、季節ごとの展示のコメント用紙の準備なども行いました。後期にはサプライズ貸出(どの本が入っているか開けるまでわからない企画)の本の選書を行いました。

展示・館内装飾係 季節ごとに館内の装飾を変えています。後期はハロウィンやクリスマスなどの飾り付けをしました！ また、おすすめの本の紹介POPの作成も行いました。☞おすすめの本は中面で紹介しています！

広報係 新しく買った本の中でみなさんに読んでほしい本を選んで紹介する新着図書案内を作成しています！後期は冬号と春号を作成しました。掲示板や各クラスに掲示してもらった結果、多くのみなさんに見てもらったことができ、どの本もたくさんの方が借りていくてくれました！



選書係 とは名女生に読んでほしい、おすすめしたい本を図書館に追加する役割を担っています。一所懸命名女生のことを想って選んだ本を図書館に入れてもらったことは、私たちのやりがいとなりました。最後の当番日には可愛いポップを作って私たちの選んだ本を紹介しました。たくさんの方の目に留まってもらえれば嬉しいです。図書館に来て様々な本の魅力に触れ、お気に入りの一冊を見つけてみてください。☞選書した本は中面で紹介しています (高校2年)

イベント係 では、皆さんが図書館へ行くきっかけをつくり、楽しんで本を借りることができるように企画を考えました。後期はイベントを2つ企画し、名女読書会に参加しました。くじ引き読書では、くじを引いてお題の本を借りるので、自分では選ばないような新しい本と出会えたかもしれません。また図書館クイズでは、ただ本を読むのではなく、クイズにすることでさらにその本を楽しめたのではないのでしょうか。イベントを楽しんで続けられるように工夫したので、楽しそうに図書館に来ているみなさんを見たときには、とてもやりがいを感じました。この企画を通じて、みなさんが本に興味をもち、図書館を利用していただけたら、嬉しく思います。(一貫4年)

☞読書会で紹介された本は中面で紹介しています！

図書委員企画イベント

★くじ引き読書 実施期間:2018年12/3~12/21
カウンターでくじを引き、引いたくじに書いてあるジャンルの本を借りるとポイントがもらえ、ためたポイントに応じて景品をもらうことができる企画を行いました。どの本が対象になるかは引くまではわからない、ということもあり、たくさんの方が楽しみながら参加してくれました。とても盛り上がりました！



★図書館クイズ

実施期間:2019年2/1~3/15

図書館や本に関わるクイズに答え、その答えに関わる本を借りて、10問クリアすると景品がもらえる企画を行いました。参加者にはオリジナル特製しおりがプレゼントされました。クイズやしおりは図書委員が作成しました！



平成30年度 卒業記念寄贈品紹介

昨年度、高校を卒業した先輩より卒業記念として図書と視聴覚資料、書架とテーブルを寄贈していただきましたので、紹介します。

人物で読む源氏物語 全20巻

源氏物語をより深く知るために人物に焦点を当てているため、「源氏物語」をより深く知ることができる本です。コラムやエッセイなども書かれているので読みやすいです。古典の授業で調べ学習に使われました。



驚異の小宇宙 人体 I・II・III

人体の不思議を「見て」学ぶ
神秘に満ちた小宇宙「人体」。その驚くべきメカニズムを紹介する大型科学ドキュメンタリー映像資料。遺伝子のことや生命の誕生の神秘についてなど、「人体」にまつわる様々な事象がCGを使って説明されています。



書架(図書委員選書コーナー)

新しい書架が設置されました

書架(本棚)を寄付していただきました。「図書委員選書コーナー」として利用しています。詳細は中面で紹介しています。



三角テーブル2台

コーナーがグレードアップ!

三角テーブル(2台)を寄付していただきました。ブラウジングコーナーが広くなり、今までよりも多くの人が利用できるようになりました。



調べ学習成果紹介

源氏物語の姫君たち

図書館外側に展示
一貫5年生が古典の授業で「源氏物語」に登場する女性で一番気になった人物を調べる」学習を行いました。卒業記念寄付された資料や大学から取り寄せた資料、ジャパンナレッジなどを使って調べました。



愛知県の疑問探し

図書館内ガラス壁面に展示
一貫1年生が社会の授業で身近な「愛知の疑問」を調査しました。図書館の資料や信頼のおけるインターネット資料などを使って調べていきました。



私のおすすめ絵本

図書館外側に展示
一貫1・2年生が家庭科の保育分野で小さなころに読んだ思い出の絵本やお気に入りの絵本の印象的なシーンを、絵とことばで紹介する課題に取り組みました。紹介された絵本は館内で展示しています。



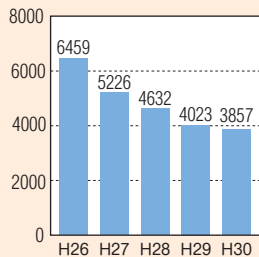
編集後記

新しい元号となった令和元年が始まりましたが、新学期、皆さん図書館は利用していますか。今号では、『想いを読む』をテーマに、図書委員の本への想いを紹介しました。また、昨年度図書委員の活動では、イベントや展示など、様々な活動を行い、多くの皆さんの参加があり図書館の利用も大きく増加しました。今年度も図書館がもっと身近な存在となるよう、図書委員を中心に楽しい企画を考えていきます。休み時間や授業後、気軽に図書館をのぞいてみてください。

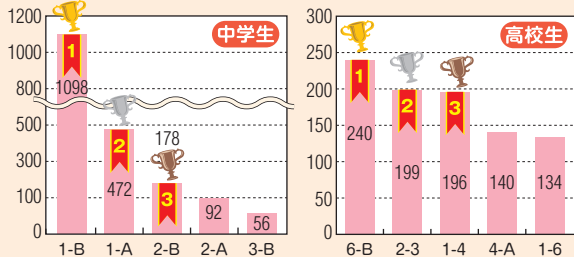
平成30年度利用状況

平成30年度の来館者数は、昨年度に比べると4825人の増加がみられました。ほとんどの月で昨年度の同じ月の来館者数を上回っています。資料の貸出総数は昨年度に比べ減少していますが、生徒一人当たりの貸出冊数は昨年度よりも増え6冊になりました。また、貸出冊数上位ランキングでは、1000冊以上の貸出があったクラスもありました。

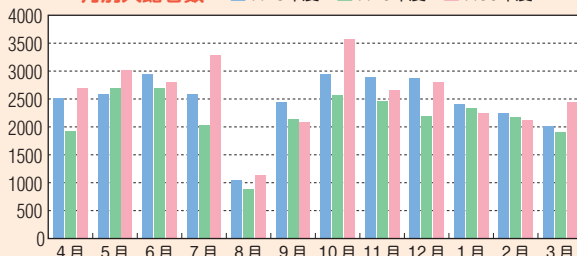
貸出冊数経年変化



貸出冊数上位ランキング



月別入館者数



年間入館者数・1日平均入館者数

